

165 雨蛙不孝

雨蛙のほうは、全然元気の場合は、親にすることを全部反対をする話がありますでしょう。だから、もし、万が一の場合があったら、

「私は河原のすそに埋めてくれ」と言っただから、そうなった場合は、親は、別に家に祀るだろうと。いつも反対しておるから、親に対して。そんなに平生は、親のおっしゃることを全然聞かなかったって。

だから、こんな場合があった場合は、息子は反対にするから、陸持って行つて私を祀るだろうと。それで、反対に河原に埋めたから、大水の時はいつも親の心配してガクガクして鳴くって。

字摩文仁 金城宏栄

類話

字真栄里 比嘉スエ、宮里カメ、玉城亀雄